

# 交通局

交通事業会計要求総額 2,207 百万円  
(対前年度 +3.3%)

収益的収入	2,059 百万円
収益的支出	2,064 百万円
差引	▲ 5 百万円
単年度資金収支	+ 3 百万円

## 【令和6年度 予算要求の方針】

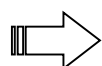
交通局は、全国の公共交通事業者と同様に、大幅な収入減に加え、赤字路線の維持や運転者不足、燃料費の高騰など、困難な課題に直面しています。

このような厳しい状況の中で、市営バス事業の存続のため、経営改善に全力で取り組み、『つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を実現するグローバル挑戦都市・北九州市』を目指します。

- 企業誘致を促進するための路線整備などに取り組み、「稼げるまち」を実現します。
- 市内のイベントや観光地などとの連携を強化し、「彩りあるまち」を実現します。
- 乗務員の確保とともに安全・安心・快適な運行を心掛け、「安らぐまち」を実現します。

## 【令和6年度 予算要求の基本的な考え方】

### ◎ 経営改善の取り組み



「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現

#### ● 増収対策

- (1) 乗合バス利用者の拡大
- (2) 貸切・受託事業の営業強化

#### ● 筋肉質な経営体質への転換

- (1) 運行エリア（路線）の見直し
- (2) 適正な運賃体系の検討
- (3) シェイプアップに向けた取り組み

#### ● 乗務員確保

- (1) 乗務員の効率的な勤務体系の構築
- (2) 新規乗務員の確保

#### ● 利用者の声の反映

SNS 等で利用者の声を聴き施策に反映

#### ● 市営バスのあり方

- (1) 公共交通のあり方の検討に関する議論への参画
- (2) 維持すべきエリアと維持困難なエリアの整理



「SNSによる写真投稿」日本のバス120年企画グランプリ受賞  
(日本バス協会主催)



交通局 EVバス

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

# 令和6年度交通局予算要求方針

## 1 令和6年度交通局予算要求総括及び方針

### (1) 令和6年度交通局予算要求総括

#### 【交通事業会計】

令和6年度要求総額	2,206,840千円
(令和5年度予算額	2,135,390千円)
前年度比	+3.3%

### (2) 令和6年度交通局予算要求の方針

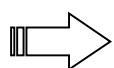
交通局は、全国の公共交通事業者と同様に、大幅な収入減に加え、赤字路線の維持や運転者不足、燃料費の高騰など、困難な課題に直面しています。

このような厳しい状況の中で、市営バス事業の存続のため、経営改善に全力で取り組み、『つながりと情熱と技術で、「一步先の価値観」を実現するグローバル挑戦都市・北九州市』を目指します。

- 企業誘致を促進するための路線整備などに取り組み、「稼げるまち」を実現します。
- 市内のイベントや観光地などとの連携を強化し、「彩りあるまち」を実現します。
- 乗務員の確保とともに安全・安心・快適な運行を心掛け、「安らぐまち」を実現します。

## 2 重点的に取り組みたい主なもの

### ◎ 経営改善の取組み



「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」の実現

### (1) 「稼げるまち」の実現

#### ◆ 増収対策

- (1) 乗合バス利用者の拡大
  - ・企業誘致を促進するための路線整備

- (2) 貸切・受託事業の営業強化
  - ・若松区の観光地化との連携（バスの運行）

(2) 「彩りあるまち」の実現

◆増収対策

- (2) 貸切・受託事業の営業強化 <再掲>  
(一歩先の価値観を体感できる貸切事業)

◆市営バスのあり方

- (1) 公共交通のあり方の検討に関する議論への参画
- (2) 維持すべきエリアと維持困難なエリアの整理
  - ・「(仮称)市営バス事業あり方検討会」

(3) 「安らぐまち」の実現

◆増収対策

- (2) 貸切・受託事業の営業強化 <再掲>  
(一歩先の価値観を体感できる貸切事業)

◆筋肉質な経営体質への転換

- (1) 運行エリア（路線）の見直し
  - ・効率的・効果的なダイヤ編成の見直し
- (2) 適正な運賃体系の検討
- (3) シェイプアップに向けた取組み

◆乗務員確保

- (1) 乗務員の効率的な勤務体系の構築
- (2) 新規乗務員の確保
  - ・乗務員確保に向けた処遇改善

◆利用者の声の反映

- SNS等で利用者の声を聴き施策に反映
- ・利用者アンケートの実施